

授業科目	作業療法評価学概論				
担当者	辻 郁 (実務経験者)				
実務経験者の概要	作業療法士免許取得後、医療機関、保健行政で作業療法を実践してきた。特に保健行政では、身体障害、老年期障害、精神障害、発達障害、一般住民など多様な方々への作業療法を行ってきた				
学科名	作業療法学専攻	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

講義により、作業療法評価の枠組みを学習する  
演習によって生活機能の把握方法を学ぶ

## ■ 到達目標

- 1) 作業療法評価とは何かを説明できる
- 2) 作業療法評価の過程を説明できる
- 3) 作業療法評価における記録と責任について説明できる
- 4) 面接、観察による情報収集のポイントがわかる
- 5) 意識やバイタルサインについて理解する

## ■ 授業計画

- 第1回 作業療法と評価 評価とは
- 第2回 記録と報告の意義と特徴
- 第3回 作業療法の効果判定
- 第4回 面接による情報収集
- 第5回 観察による情報収集
- 第6回 身体機能検査による情報収集
- 第7回 身体機能検査による情報収集
- 第8回 意識の評価、バイタルサイン

## ■ 評価方法

【科目試験（筆記試験）】80% 実技試験20%

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

テキストの該当ページを必ず読みおおよその理解をしておくこと  
授業終了後はノートを整理し直し、わからないことや興味があることは調べておくこと

## ■ 教科書

書 名：作業療法評価学  
著者名：岩崎テル子編集  
出版社：医学書院

書 名：DVD シリーズ1 PT・OT のための測定評価 第2版 ROM 測定  
著者名：福田 修(監修)  
出版社：三輪書店

## ■ 参考図書

## ■ 留意事項

欠席しないように日頃の健康管理につとめる 授業には主体的に参加する  
メジャーやゴニオメーター，聴診器を使用するので忘れないようにする  
演習があるので，動きやすい服装で参加する

## ■ 講義受講にあたって

作業療法士として，対象者を深く理解する第一歩になる評価学の第一歩です。つまり，基礎の基礎ですから，この科目で作業療法評価とは何か，実際にどのように進めるのかを習得しましょう